

EXAMPLE: Q: John, how was your vacation?

A: Well, it was good, I guess.

見本例

Well, it was good, I guess.

We drove 600 miles and visited five cities in four days. Kids were going crazy in the car the whole time. So, you know what it's like, don't you?

But it was fun. Kids had a great time.

いやあ、そうですね、まあ、よかったですよ。4日間で600マイルドライブして、5都市回りましたね。その間中、もう、子供たちは車の中で大騒ぎですよ。ですから、まあ、どんなだかご想像がつくと思いますけどね。でもまあ、楽しかったですよ。子供たちが大喜びでしたからね。

..., I guess. ~じゃないかな、~ってとこかな

慣用表現

非常に口語的な表現です。文頭に来るときと、このように文末に来るときがあります。I guess ... は「~と推察する、推測する」というのがもともとの意味ですが、特にこのように文末につける場合には、合理的に推察したことを言っているのではなく、「まあ、どっちかと言えばそっちになるの**かな**」と、自分の印象をちょっと自信無げに言ってみたり、ちょっと皮肉っぽく言ってみたりする時が多いです。ですから、この例文では、もうこの段階で、「すっきり、気持ちよく、文句なく It was good!」というわけではなかったことが伺えます。

to go crazy 気が狂う、収集がつかないほどの状態になる

パターン表現

to go + 形容詞 で、「~な状態になる」という意味になります。crazy は文字通り「気が触れる」という意味ではなくて、一般的には「収集がつかないような状態になる」というイメージで、大騒ぎしたり、ひどく怒ったり、暴れたり、大喜びしたり、といった時の様子を表してよく使われます。ここでは、子供達が車の中で大騒ぎをしている様子が浮かびますね。非常に口語的な表現です。

We all went crazy after the final exam. (最終試験の後、皆、羽目を外して大騒ぎした)

We all went quiet when he entered the room. (彼が入ってくると、皆、急に静かになった)

the whole time その間ずっと

慣用表現

これ全体で、「その間ずっと」という意味で、副詞的に使われます。

what it's like どんな状況か、どんな様子か

慣用表現

これ全体でひとつの名詞のかたまりですね。It は漠然と状況を指しています。It is like [spring]. (春みたくの [spring] にあたるところが疑問詞 (what) になって前に出ているわけです。

What is it like in Tokyo in spring? (東京の春はどんな感じなんですか?)

You don't know what it's like to work overseas.

(海外で働くのがどういふことが、君には分からないよ)

I am going to ask him what it's like in the NY office.

(NY オフィスってどんな感じなのか彼に聞こうと)

kids 子供達

慣用表現

children に比べると、かなり口語的な表現ですが、非常によく使われます。